

2022年
令和4年
8月号

広報 たっこ



3年ぶりに、にんにく収穫祭開催

6月18日、19日の2日間、田子にんにく収穫祭が開催されました。
新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となります。詳しくは3ページをご覧ください。

[CONTENTS]

- 今月の話題…………… 2
終戦特集 平和のために語り継いでいく
3年ぶりの開催！ 第11回にんにく収穫祭
- トピックス…………… 4
田子神楽養成講座開講式
田子町自治会連合会総会～連合会設立から35周年～ ほか
- お知らせ…………… 7
- 公民館情報…………… 10
第74回三戸郡総合体育大会競技結果 ほか
- 図書館情報…………… 11
夏休み 本を読むなら 図書館へ
- 情報スクランブル…………… 12
学校の話 上郷小学校 ほか



終戦特集

平和のために語り継いでいく

昭和20年8月15日の終戦から今年で77年を迎えます。戦争体験者が高齢化し、亡くなっていくなかで、その記憶を風化させないために、戦争と平和について、どのように次世代に伝えていくかが課題となっています。

広報8月号では、戦争体験者のインタビューを行い、「戦争」と「平和」について考えていきます。今回、インタビューに答えてくれたのは、田子町出身の野田頭弘子さんです。野田頭さんは、満州で終戦を迎えました。満州での生活の様子や引き揚げ時の様子など、戦争体験を目を潤ませながら語ってくれました。



インタビューに答えてくれた野田頭弘子さん(旧姓:坂下)

◎満州での暮らし

昭和13年の中頃に、父が満州鉄道の警備隊で働いたため、新田の家を出ました。3〜4年経って、父から満州へ来てほしいと連絡があり、満州へ行くことになりました。

満州へ行く際、祖父が韓国の釜山まで連れて行ってくれ、父と再会し、満州のブハトへ向かいました。祖父は私たちと別れたあと、父から費用を出してもらい中国を旅行して帰ったようです。

ブハトでの生活は、警備隊の官舎で家族5人で暮らしていました。

私は当時では珍しい飴や砂糖ばかり食べていたと父の手紙に書かれていて、裕福な生活をしていただんと思えます。

◎敗戦後の生活

ところが、終戦間際の昭和20年4月、父は、現地召集され、「もう自分は帰ってこられないかもしれない。なんとか生きて内地に帰ってほしい」と言われました。8月9日にはソ連が参戦し、私たちがいる所に爆弾を落としていくようになりました。近所の人と防空壕を作った。逃げ込み、振動で土がパラパラ落ちてきて、とても怖かったです。

ブハトはソ連に近かったので、大都市ハルビンまで逃げました。ハルビンで日本が戦争に負けたことを知り、大人たちが泣いていたのを覚えています。

その後、チチハルの官舎で1つの家に3世帯が入って生活をしていました。私は、母に言われて、みかん箱のような物に「饅頭」を入れて、日本人街で「まんとう、まんとう」と言って売り歩きました。「小さい子なのに感心ね」と言って、みんなが買ってくれました。母が一番すごかったのは、

空の米俵を解いて赤や青の鼻緒を付けたわら草履を作ったことです。それを私が「お勝手に履くスリッパの代わりです」と日本人街で売りましています。

◎内地への引き揚げ

ひと冬をチチハルで過ごし、昭和21年の8月に日本へ引き揚げることになりました。母は港まで長旅にな

ると思い、食パンを屋根の上でカラカラになるまで干したり、飴玉をたくさん買ったり、アルマイトの弁当箱に詰めたものを何個も用意し、私たちを連れて引き揚げの列に加わりました。途中で私が熱を出してしまい、一緒にいた母の友達が「このままだと連れていけないから列から離れるの?」と母に聞いていたのを覚え



引き揚げルートの地図



引き揚げの様子を描いた絵鉄板の鍋がとても重宝した

ています。母が寝ずに一晩かけておでこを冷やしてくれたり、おかげで熱が下がりました。中にも歩くことができませんでした。中には、体調を崩し亡くなる人もいました。

私は、2歳の弟を背負っていたので、どうしても列から遅れてしまっんです。列から遅れると下の子を置いて行きなさいと満人(中国人)が寄って話しかけて

きました。母は「不要」(中国語で「いらぬ」の意味)と言って追い払ってくれたのを覚えています。

チチハルから30日ほど歩き、中国のコロトウという港から博多へ出港しました。博多から三戸駅へ汽車で移動し、迎えにきてくれた親戚からは、母親がすごく痩せていて、やっと歩いている様子にびっくりしたと聞いています。



満州に住んでいた頃の家族写真
左から弘子さん、母親、末の弟、上の弟、父親



野田頭さんの父・円次郎さん
捕虜収容所に入っていた時に火事にあい、病気の友人を助けるために、火の中に飛び込んで亡くなった

◎戦争体験を通して今思うこと

現在、ロシアで戦争をしているみたいですが、戦争は本当に大変です。あの時戦争孤児にならずに日本に帰ってこられたのは、母の知恵のおかげです。

母はいつも「父親がいなから悪く育ったと言われたくない」と言って、厳しく育てられました。母の厳しい教育が自分の子育ての参考にもなっています。

小さい頃に最低の生活をした経験があるので、今がすごく幸せに感じています。

8月10日から24日までの間、田子町立図書館では、「戦争」と「平和」の展示が行われます。

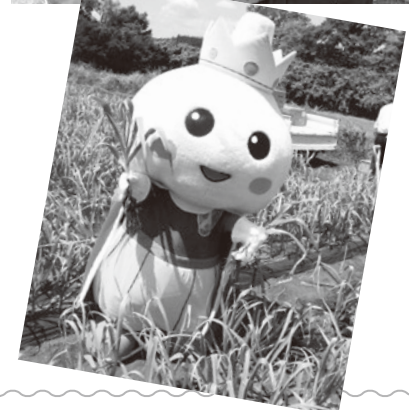
また、8月17日(水)午前10時からメモリアルたっこホールで開催される田子町戦没者追悼式では、野田頭さんへのインタビュー映像が流れることになっています。これを機会に「戦争」と「平和」について一度考えてみませんか？

3年ぶりの開催! 第11回 にんにく収穫祭 ~にんにくづくしの2日間~

6月18日、19日の2日間、田子町農山村広場を主会場に「第11回田子にんにく収穫祭」が開催されました。これは、にんにく収穫祭実行委員会の主催によるもので、新型コロナウイルス感染症の影響もあり2年連続中止となっていましたが、感染症対策を講じ3年ぶりの開催となりました。

この時期にしか味わうことができない旬の生にんにくを手に入れようと、各日限定200枚の収穫体験チケットを求め、町内外から多くの方が集まり行列ができていました。収穫体験では大きいにんにくを掘り当てた参加者から歓声が挙がるなど、自分で収穫したにんにくを手で満足そうな様子でした。広場では、たっこにんにくを使用した特製ケバブや生にんにくの素揚げなどの出店が並び、訪れた人たちは田子町の味を満喫していました。

ステージでは、たっここども園や田子幼稚園の園児らによるかわいいダンスや、ナニヤドヤラ、田子神楽、アコースティックライブ、たっこ王子とのじゃんけん大会などが行われ、会場を盛り上げました。今年のにんにく収穫祭は、2日間で約3500人が会場を訪れました。



春の星空観察会

(※写真1・2)

5月28日、29日の2日間、ロジジカウベルで田子町観光協会主催の星空観察会が開催されました。この観察会は、大黒森つつじまつりの一環として開催され、2日間合わせて26名の参加がありました。

案内人の吉田偉峰さん（二戸町観光天文台台長）による星座の解説やユーモアあふれる講話に会場はにぎやかな雰囲気になりました。28日はあいにくの天気でしたが、29日にはきれいな星空が広がり、実際に外で望遠鏡を使って星を眺めるなど、住んでいても普段はなかなか見ることのない田子町の星空に参加者は見入っていました。

田子神楽養成講座

開講式 (※写真3)

5月30日、中央公民館で田子神楽養成講座の開講式

が行われました。田子神楽は県の無形民俗文化財に指定され、郷土芸能の継承として毎年多くの受講生が保存会の指導のもと練習をしています。

開講式では田子神楽保存会の宇藤堅一会長が「神楽は神様を楽しませると書きます。皆さんもいろんな人を楽しませ、自分も楽しんで元気に舞ってほしいと思います」と受講生に向けてあいさつをしました。

養成講座には、園児から高校生まで計23名の申し込みがあり、保存会技芸部員の手本を見ながら番楽や傘舞など各演目を練習していきます。10月に行われるひとくるめ文化祭での発表を予定しています。

田子町自治会連合会総会〜連合会設立から35周年〜 (※写真4)

5月31日、中央公民館ホールで田子町自治会連合会総会が開催されました。

田子町自治会連合会は、昭和61年2月26日、35の地域自治会等の参画のもと設立されて以来、地域の皆様とともに様々な地域づくり事業に取り組み、現在では町内48の全自治会等が加入し活動を行っています。令和3年度には設立35周年を迎えたことから記念誌が作成され、これまでの取り組みや自治会の現状と課題、今後目指していく方向などを確認しました。

総会では、自治会連合会長の川村武司さんが、「田子町自治会連合会のあゆみとこれから目指す方向について」と題し、記念誌を作成する際に各自治会等へ行ったアンケート調査結果を基に講話を行いました。川村会長は、「アンケートより地域のリーダーのなり手がいなくリーダーの育成が必要だとわかってきた。町と連合会が連携し、10年で5人のリーダー育成をする戦略的人材育成を行っていききたい」と熱く語りかけていました。



(写真2) 星空観察



(写真1) 吉田偉峰さんによる講話



(写真4) 川村会長による講話



(写真3) 養成講座の様子

また、総会の冒頭では、田子町自治会連合会表彰規定による表彰が行われ、構成団体長として通算10年以上在職する方への表彰状が渡されました。

表彰者は次のとおりです。
 ▽北側自治会 会長 一ノ渡尚武▽柴倉自治会 会長 山下耕治▽野月自治会 会長 井上節子▽南風張常会 会長 堀八一▽池振自治会 会長 奥家三雄▽野面自治会 会長 川端誠▽道前自治会 会長 大坊和民

サイクルイベントin田子町くんにくの里を駆け抜ける

(※写真5)

6月5日、田子町ツーリズム推進組織委員会の主催で、第6回目となるサイクルイベントin田子町が開催されました。今年には昨年に比べて参加者が増え、町内外から約200名が参加しました。

参加者らは大黒森やみろくの滝など坂道を駆け抜け

る健脚コース(80km)と、電動アシスト付き自転車も参加可能で、田園風景を楽しみながら平坦な道を走行するサイクリングコース(40km)に分かれ、農山村広場をスタートしました。各々自分のペースで走りながらサイクリングを楽しんでいる様子でした。

ゴールした後は田子牛のBBQセットを持ち帰り、参加者らはサイクリングを通して景観や食といった田子町の魅力を満喫できた1日となりました。

たつたんにくを守るう!

(※写真6)

6月8日、んにくの収穫期を前に中央公民館で「んにく盗難防止パトロール出動式」が行われました。出動式には三戸警察署員や田子町防犯協会の方々など約50名が参加しました。

出発宣言として、三戸地区防犯指導隊の元村優憲支隊長が「生産者が精魂込め

て育てたニンニクを盗難されることなく消費者に届けるため防止パトロールに出動します」と意気込みを述べました。その後、近くのんにく畑へ移動し、盗難防止看板とのぼり旗を設置して盗難防止を呼びかけました。

田子中3年生『郷土研究』

(※写真7)

6月9日、田子中学校の3年生が、総合学習の一環で行っている『郷土研究』の聞き取り調査を行いました。これは、中学3年生がふるさと田子町への理解を深めるために取り組んでいるものです。

生徒たちは、各自、町の産業や観光、歴史等を研究テーマに設定し、研究に必要な情報を集めようと関係機関へ訪問しました。

Takko Visitor Centerみろく館で行われた役場職員へのインタビューでは生徒18名が訪れました。環境問題や人口減少



(写真6) 看板設置の様子



(写真5) 農山村広場をスタート



(写真7) 聞き取り調査の様子

たっこまち地域おこし協力隊☆活動録

◆お試し地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の五十嵐です。6月18日から21日までの4日間、東京の大学に通う長島裕樹さんが、お試し地域おこし協力隊として田子町に滞在しました。地元が私と同じ「千葉県谷津」という縁でつながった今回、にんにく収穫祭の従事を中心に様々な田子町の姿を体験して行ってくれました。最終日にはみろく館にて、「谷津と田子町をつなぐ」プロジェクトを発表、発表を聞いて谷津と田子町がつながることに何か可能性があるような気がしました。



何度か東京での物産展の販売に行ったことがあります。東京での販売は売上のよし悪しだけで評価。顔の見えないお客さんを相手にするのもつながりが生まれていないと感じていました。もしこれがギルロイや神楽坂のように、売上だけではなくて人や文化の交流ができるそんな場所が増えたらどうなるのか、彼の発表にはそんなところの可能性が詰まっていたように思います。今年中に谷津で田子町の物産展をやるような動きも今見えてきていますが、つながった縁を何とかつないでいきたいと思えます。

◆収穫祭でのパン初出店

地域おこし協力隊の木村知子です。個人的なお話になりますが、先日行われた田子にんにく収穫祭にて、スノーボード協会会員として協会の名前をお借りして、加工場はTakko cafeをお借りして、初めてのパン出店をさせていただきました。初めてということで仕事後に備品や食材の買い出し、製造、袋詰めやラベル貼りなど、少々バタバタしてしまいましたがなんとか出店し、当日は早い時間に完売することができました。今回は「チャレンジ出店」の要素が濃く、設備の関係で数量も多くは用意できず「買えなかったよ～」と言ってくる方がいて申し訳ない気持ちもありましたが、今後も町のイベントや弁当フェア等に出していく予定ですので、長い目で見ていただけたら幸いです。今回ご協力くださった方々、ありがとうございました。またの機会によりしくお願いします！



◆初めてのにんにく収穫祭

こんにちは。地域おこし協力隊の木村治樹です！前年度はオンライン開催だったので、移住してきて初めての会場開催によるにんにく収穫祭。自分は当日、ケバブの販売のお手伝いだけでなく、初めて自らのパンも（スノーボード協会より）出店させていただきました。とにもかくにもたくさんの方がご来場いただいたことが驚きで、うれしかったのと同時に、イベントを行う上ではたくさんの方々の関わりが必要であり、大変な労力と時間がかかるものということを学ばせていただきました。今後行われるであろう行事においても、私なりに協力できることをさせていただきたいと思っております。

大切な森林を守る〜大黒森植樹祭〜

（写真⑧）

問題、農業、郷土芸能等、生徒たちは様々な分野に目を向けていて、事前に提出した質問事項について担当職員から説明を受けました。担当職員から興味を持ったきっかけや、問題解決に向けてどう考えているかなど、質問される場面があり、生徒たちは、自分の考えを伝えていました。

6月24日、大黒森地区環境公共推進協議会（川村富雄会長）主催の植樹祭が行われました。これは地域住民とともに環境について考え、持続的な森林の保全維持を行うことを目的としている活動です。

今回、清水頭小学校の児童や関係者らが「かつら」と「紅山桜」と「シラカンバ」の苗木を植樹する予定でしたが、当日はあいにくの雨模様で、「かつら」の苗木だけ植樹しました。「かつら」は清水頭小学校の校

歌に出てくる木です。平成28年度から清水頭小学校の児童の協力を得て植樹祭を開催してきたことと、清水頭小学校が今年で閉校になることを受けて、子どもたちの成長とともに、大きく育ち地域を見守る木々となることを祈念して、植樹されました。

大黒森に立ち寄った際には、今まで清水頭小学校の児童が植えた苗木がどのくらい成長しているか見てみるのもいいですね。



（写真⑧）大黒森植樹祭の様子



交通死亡事故ゼロ

みろく 3690日を目指しています！

8月はレジャードライブの事故が多いとされています。加えて、行楽や帰省時期は、普段より交通量が増加しますので注意しましょう。





八戸圏域連携中枢都市圏
八戸都市圏スクラム8

連携中枢都市圏の
取組を紹介します！

※八戸圏域（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）

第2期八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン

八戸圏域では、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するため、平成29年3月に連携中枢都市圏を形成し、「経済成長のけん引」や「高次都市機能の集積・強化」、「生活関連機能サービスの向上」に関する取り組みを推進しています。

令和4年3月には、「第2期八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン」を策定し、現在、23施策78事業に取り組んでいます。

※次回から、連携事業を個別にご紹介します。

問 八戸市政策推進課 ☎0178-43-9260

【第2期ビジョンの概要】

○連携中枢都市圏の名称

八戸圏域連携中枢都市圏
(愛称：八戸都市圏スクラム8)

○具体的な取組期間

令和4(2022)年度
～令和8(2026)年度(5年間)

○目指す将来像

「地域の個性が輝き自立した八戸圏域」

○具体的取組(一例)



第2期ビジョン
の詳細はこちら



ドクターカーの運行



8baseの運営(東京都内)

■ 個人事業税について

個人事業税は、物品販売業、請負業、不動産貸付業、医業、理容業などの事業を営む個人の方に、前年中の所得をもとに課税される県の税金です。

8月上旬に送付される納税通知書により、原則として8月と11月の二期に分けて納めていただきます。

今年度の第一期分の納期限は8月31日(水)です。期限までにお近くの金融機関やコンビニエンスストアなどで納めてください。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。

問 三八地域県民局県税部 課税第一課
☎0178-27-5111 内線208

■ ご家庭での食中毒予防をお願いします

Point1 手洗いは「ハッピーバースデー」の歌を2回

きれいに見える手にも、実は細菌がたくさん付着しています。食事前にも手洗い石けんで手を洗いましょう。手洗いはハッピーバースデーの歌を2回歌いきるくらいの時間がちょうど良いようです。



Point2 焼肉は「トンゲ→トンゲ→箸」

肉は中心部までしっかり火を通しましょう。焼肉の際は、トンゲで肉を焼き網に乗せ、ひっくり返すのもトンゲ、最後に自分の箸で肉を取ることも大切です。トンゲと箸の使い方を意識し、安全におしくいただきます。



Point3 「時間」と「温度」をコントロール

調理品は食中毒菌が増えないよう、早めに食べましょう。また、食品の保存は危険温度帯(10～60℃)を避けるため、冷蔵庫で行いましょう。冷蔵庫の開け閉めは最小限にして、中は7割程度にとどめることも大切です。

問 三八地域県民局 地域健康福祉部保健総室
☎0178-27-5111

■ 「解決の糸口を見つけに行こう！」相談会

町と連携して生活再建相談事業を行っている消費者信用生活協同組合による無料相談会です。専門スタッフや弁護士がお金や暮らしに関する悩みなどについて、丁寧に聴き取りし、一緒に解決の糸口を見つけます。



▼日時 9月10日(土) 午前10時～午後4時

▼場所 信用生協八戸事務所
(八戸市一番町1-2-14 NIビル3階)

▼対象の相談 ①お金の問題(多重債務問題など)、②遺産相続、③不動産売買、④税金等公共料金の滞納、⑤DV・離婚問題、⑥その他暮らしに関する悩み事

▼相談料 無料。ただし事前の予約が必要です。

▼予約先 信用生協八戸事務所 ☎0120-102-084

■ 令和4年度消防職員採用試験

令和4年度消防職員採用試験を行います。

▼採用予定人員

消防士(A)【大学卒】 2名程度
消防士(B)【短大卒・高校卒】 5名程度



▼試験日 9月18日(日)

▼受験申込期間 7月25日(月)～8月12日(金)

問 八戸消防本部総務課 ☎0178-44-2132
<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/koiki/shobo/>

■ 農業資金の利子への補助事業を実施します！

町では、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、肥料や農業資材の価格高騰等により営農継続が難しい状況にある農業者を支援するため、農家が営農するための借入金の利子について補助を行います。

補助金を受けるための条件は以下のとおりです。

▼**対象資金** 農業近代化資金、経営体育成強化資金、スーパーS資金、JA農機ハウスローン、あおぎん農業ローン、葉タバコ生産者特別融資、けんしんよう事業活性化ローン、その他営農に資する資金

▼**補助額** 金利のうち0.2%以内～0.5%以内
※対象資金によって異なります。

▼**対象期間** 令和4年4月1日から令和5年3月31日までの期間に発生した利子で金融機関に支払うもの
※令和4年以前の契約物件も対象となります。

▼利子補給の上限額

農業者個人の場合は5万円/人

農業生産をする団体は30万円/団体

※農業生産をする団体とは、農業法人、集落営農組織等で、任意団体は対象外となります。

▼**申請期間** 6月13日から令和5年3月31日まで

問 役場産業振興課 1次産業戦略推進グループ (中村)
☎20-7116



■ 後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

1. 振込口座の変更届出について

高額療養費等の給付申請の際に届出した振込口座に変更(解約・金融機関の店舗統廃合等)があったときは、必ず役場住民課福祉グループへ届出してください。

※届出がないと、振り込みができなくなりますので、お早めの届出をお願いします。



2. 交通事故等にあつたとき

交通事故や暴力等、第三者(自分以外の人)の行為によって負傷され、被保険者証を使って治療を受けたときは、必ず役場住民課福祉グループへ届出してください。また、自損事故や、業務中の事故で労災が適用されない場合も届出が必要です。

問 役場住民課福祉グループ (尾形) ☎20-7119

問 青森県後期高齢者医療広域連合

☎017-721-3821

■ あおもり若者定着奨学金返還支援制度がスタートしました～2023年度、2024年度採用の登録募集中～

若者が、青森県内に住み登録企業で6年間働き続けたとき、県と企業とで奨学金返還を支援する制度です。若者・企業とも事前登録が必要です。

▼対象者

- ・大学・短大等の卒業者(卒業見込み含む)で、採用時に35歳未満の方
- ・青森県内で正規雇用されていない方
- ・「日本学生支援機構」、「青森県育英奨学会」の奨学金利用者

▼**対象企業等** 県内企業または勤務地を県内に限定した採用を行う県外企業(法人、団体、個人事業主)

▼**支援額** (企業・県が1/2ずつ負担)

学校区分	支援額 (企業が設定)
大学等	150万円、100万円、60万円のいずれか
短大等	75万円、50万円、30万円のいずれか

※返還総額・返還残額の1/2が上限。

問 県地域活力振興課
☎017-734-9174



詳しくはWEBで

かんたん野菜レシピ

レンチン酢豚

(材料)

- 豚肩ロース 200g
- a おろし生姜・酒 各小さじ2
- 醤油 小さじ1
- 玉ねぎ 1個、ピーマン 2個、赤パプリカ 1/2個
- b 酢 大さじ2、トマトケチャップ 大さじ1
- 醤油 大さじ1/2、酒 大さじ1、ごま油 小さじ2
- 砂糖(黒砂糖) 小さじ1、片栗粉 小さじ1弱

(作り方)

- ① 玉ねぎ・ピーマン・赤パプリカは一口サイズに切る。
- ② 豚肉はaで下味をつけ、1枚ずつ握って球状に成形する。耐熱皿に並べてラップをし、電子レンジ(600w)で3分ほど加熱する。
- ③ 耐熱容器に玉ねぎ・②・bを入れてラップをし、再度3分ほど加熱する。加熱後、ピーマン・赤パプリカも加えて混ぜ合わせ、予熱で火を通す。味がなじんだらできあがり。



★酢豚は薄切り肉を使うと手軽にできます。また、電子レンジを活用することで時短にもなります。

★ピーマンの香り・苦み成分には血液をサラサラにする効果があります。パプリカは彩りもよく多数のビタミンが豊富なため、夏の食卓で大活躍します。

(地域包括支援課栄養士 岡崎)

■ 八戸地域広域市町村圏事務組合

議会の紹介 (構成市町村：八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)



議会は、消防、ごみ・し尿処理、介護福祉に関する予算や条例の審議、決算の認定などを行っており、構成市町村の住民を代表して議論し、住民の声を事業の運営に反映する役割を担っています。議会は年3回(毎年3月、9月または10月および12月)の定例会と、必要に応じて臨時会が開催されます。

※現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いしておりますが、傍聴を拒むものではありませんので、希望される場合はご相談ください。

○議員名簿 (令和4年6月8日現在)

議員は、構成市町村長および各市町村議会から選出された議員などで構成され、定数は30人です。組合議会の選挙により、議長には高山元延議員(八戸市)、副議長には宇藤大介議員(田子町)が就任しています。

八戸市	山之内悠・高橋正人・久保百恵・吉田洸龍・高橋貴之・田名部裕美・久保しょう・苦米地あつ子・中村益則・日當正男・高山元延・藤川優里・壬生八十博・上条幸哉・五戸定博・伊藤圓子
三戸町	馬場浩治(副町長)・越後貞男
五戸町	若宮佳一(町長)・川村浩昭
田子町	山本晴美(町長)・宇藤大介
南部町	工藤祐直(町長)・山田賢司
階上町	荒谷憲輝(町長)・濱谷貴樹
新郷村	櫻井雅洋(村長)・細川真理子
おいらせ町	小向仁生(副町長)・柏崎利信

問 八戸地域広域市町村圏事務組合議会事務局
☎ 0178-43-9161

■ 三戸衛生センター(し尿処理施設) 休止のお知らせ

9月18日(日)から25日(日)までの期間、施設の大規模な補修工事の実施に伴い、施設の運転を停止いたします。

このため、下記の期間、搬入の受け入れを停止いたしますので、この期間中にくみ取りをご希望の方はお早めにくみ取り業者にご相談ください。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

▼搬入停止期間 9月20日(火)～22日(木)

搬入停止に伴い、し尿のくみ取りも休止いたします。

問 三戸地区環境整備事務組合 ☎ 23-0567

■ 農地を貸したい方と、農地を借りたい方を募集中～農地中間管理事業で有利に規模拡大を！～

公益社団法人あおもり農業支援センターでは、県から農地中間管理機構の指定を受け、農地中間管理事業を実施しています。

農地の所有者で、経営規模を縮小する方、または農業をリタイアする方で、作付けしなくなった農地を、中間管理機構へ貸してみませんか？

中間管理機構が借り受けた農地は、新たに作付けする担い手に対して貸し付けの契約をします。これにより、耕作放棄地の増加が抑えられるとともに、農地の有効活用が図られます。

農地を貸したい意向がある方、農地を借り受ける意向がある方は、それぞれ申込用紙の記入が必要です。申込は、随時受付しております。

詳細については、産業振興課、農業委員会、または支援センターへご相談ください。

問 役場産業振興課(袖村) ☎ 20-7116

問 田子町農業委員会(堀川) ☎ 20-7120

問 公益社団法人あおもり農業支援センター

☎ 017-773-3131



■ 農業用使用済みビニール・マルチポリなどの処理について

安全な農作物を供給できる産地として信頼を得るためにも、適正処理に努めるようお願いいたします。

▼回収日 ◎2回目 9/13(田子地区) 9/14(上郷地区) 9時～15時(両日) ◎3回目 10/19(田子地区) 10/20(上郷地区) 9時～15時(両日)【予定】
◎最終 11/17(全地区) 9時～12時【予定】

▼処理費用 60円/1kg(現金、認印持参)

▼廃プラスチック分別(6種類)

1	色マルチ(緑、黒、白黒、シルバーグリーン等)は一緒
2	農ポリ、透明マルチ、白ラップ(牧草用)は一緒
3	ハウスビニール(塩化ビニール)
4	肥料袋、サイロッコは一緒
5	防風ネット、ネット類、遮光幕、ブルーシート、ポリポット、ハウスバンド、ラプシート、灌水チューブ、育苗箱は一緒
6	農業プラスチックボトル(容器は、3回以上水洗いし、空にしてフタを外した状態でフレコンに容器とフタを一緒に入れる。)

▼フレコンバック貸出 JA八戸で貸し出している以外のフレコンバックは回収できません。

※自前のフレコンバックで処分して良い場合のみ回収できます。

▼注意事項 分別されていない場合、回収はできません。

問 三戸地域農業用使用済プラスチック適正処理推進協議会(八戸農業協同組合 田子グリーンセンター)

☎ 32-4058

■行事等に関するお問い合わせは、田子町中央公民館(☎20-7070 担当：山本)
または上郷公民館(☎33-1811)までお願いします。

第74回三戸郡総合体育大会競技結果 総合第5位

6月5日・11日・12日の3日間、南部町を主会場に第74回三戸郡総合体育大会が開催されました。

今大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止策(健康チェックシートの提出、競技中以外のマスク着用、会場での検温、手指消毒など)を講じたうえで、3年ぶりの開催となりました。

コロナ禍で様々な制限があった中でも、日頃からの練習と町の名誉にかけて、各競技会場では熱戦が繰り広げられました。

結果は、軟式野球競技及び相撲競技(団体)の優勝もあり、総合順位第5位となりました。



(左上) 軟式野球競技
(右上) 相撲競技
(左) 陸上競技

各競技の上位入賞をお知らせします。

☆団体競技

- ◎優勝 軟式野球競技、相撲競技
- ◎第2位 卓球競技、弓道競技
- ◎第3位 サッカー競技

☆個人競技(個人戦)

- ◎優勝
【陸上競技】 男子40歳以上2,000M 森崎進也
男子年齢制限なし走り高跳び 山崎健太
- ◎第2位
【陸上競技】 男子30歳以上800M 大橋透
- ◎第3位
【陸上競技】 男子30歳以上1,500M 森崎進也
男子30歳未満走り幅跳び 山崎健太
- 【相撲競技】 山市大悟
- 【弓道競技】 清水麻樹
- 【ボウリング競技】 佐野徹夫

健康ウォーク2022

季節ごとに町内外のルートを楽しめる「健康ウォーク2022」を開催しています。8月は、種差海岸をスタートし、海岸沿いを楽しむコースとなっています。ご自分の体力に合わせてコースを選ぶことや親子での参加も可能です。詳細については、全戸配布されたチラシをご覧ください。

▽と き 8月7日(日)

▽ルート名 ハマの駅ルート

種差海岸～はしかみハマの駅あるでい～ば

・はつするコース：約5.7km

・おきがるコース：約4.0km

▽集合場所 中央公民館

▽集合時間 午前8時30分

▽受付

随時参加受付していますが、開催日の6日前までにご利用をお願いします。なお、申込後にやむを得ずキャンセルされる場合は、お早めにご連絡くださるようお願いいたします。

※各回定員20名となっております。定員を超えた場合は、参加を見合わせていただく場合がございますので、ご了承ください。

◎次回のルート情報

▽と き 9月25日(日)

▽ルート名 山の楽校ルート

みんなでチャレンジ 公民館講座のお知らせ

●田子神楽養成講座

▽と き 8月12日(金)・26日(金)

午後7時～8時30分

▽ところ 中央公民館ホール・和室

▽対象 小・中・高の児童生徒

▽持ち物 扇

●フラワーアレンジメント教室

▽と き 8月30日(火) 午後7時～9時

▽ところ 上郷公民館研修室

▽参加費 3,000円程度

▽内容 秋の花アレンジ

※1週間前の月曜日までの申込が必要です。

●いけばな講座

8月はお休みです。

※日程や内容に変更が生じることもあります。講座情報はその都度TCVやデータ放送、チラシでお知らせします。

新型コロナウイルス感染防止対策により、各施設利用者にはその都度確認を求める事項がありますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

図書館情報

夏休み 本を読むなら 図書館へ 「第14回 絵本屋さん大賞」特集

●「絵本屋さん大賞」特集

絵本を中心に紹介する雑誌「MOE」が全国3000人の絵本専門店・書店児童書担当者にアンケートを実施し、2021年に最も支持された絵本36冊を決定！ 大人も子どもも楽しめる絵本を、図書館で展示・貸出します。



昨年度の展示の様子

●「中学生・高校生におすすめ」本棚～ティーンズコーナー

毎日忙しい中学生・高校生の皆さんにとって、夏休みは読書に親しむチャンスです。図書館に入ってすぐ右側の本棚は、皆さんにおすすめの本を集めた「ティーンズコーナー」です。教科

書で紹介している本、心理学、職業、スポーツ、文庫本、コミックなどなど。どうぞこの機会にご利用ください。読みたい本があるときはどうぞ「本のリクエスト」をご利用ください。



中学校国語教科書で紹介している本など



●図書館の本を検索できます

田子町ホームページ内、町立図書館のリンクから蔵書検索ができるようになりました。パソコンやスマートフォンからいつでもご利用ください。

図書館おやすみカレンダー

2022							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6							
7	8	9	10	11	12	13							
14	15	16	17	18	19	20							
21	22	23	24	25	26	27							
28	29	30	31										

▼色の濃い日が休館日です。

田子町立図書館(担当:川村)
☎20-7221

図書館の閉館時間

水～土 午前10時～午後6時
日曜日 午前10時～午後4時

8月の図書館行事

- ▼8/3(水) 午前10時
ブックスタート/せせらぎの郷
- ▼8/6(土) 午前11時
読書マラソン表彰式
- ▼8/17(水) 午前10時
セカンドブック/せせらぎの郷

※8/13(土)は午後4時で閉館します。

図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日
(館内整理日)

新刊案内

●医療・美容・園芸

- ▽運動未満で体はととのう/498ナ
- ▽和ハーブのある暮らし/499ヒ
- ▽メイクがなんとなく変なので友達
の美容部にコツを全部聞いてみた/595ヨ
- ▽二十四節気で楽しむ庭仕事/629ヒ

●歴史・時代小説

- ▽忘憂草/便り屋お葉日月抄9/
今井絵美子/913イ
- ▽友よ/便り屋お葉日月抄10/
今井絵美子/913イ
- ▽恋大蛇/羽州ほろ鳶組12幕間/
今村翔吾/913イ
- ▽狂う潮/新・酔いどれ小藤次23
/佐伯泰英/913サ
- ▽浮世小路の姉妹/佐伯泰英/913サ
- ▽黛家の兄弟/砂原浩太郎/913ス
- ▽春風譜/風の市兵衛2-31/辻
堂魁/913ツ
- ▽女人入眼/永井紗耶子/913ナ
- ▽麦湯の女/橋廻り同心・平七郎控
9/藤原緋沙子/913フ
- ▽残り鷲/橋廻り同心・平七郎控
10/藤原緋沙子/913フ
- ▽さしみ朝膳/料理人季蔵捕物控
43/和田はつ子/913ワ

●ミステリー・警察小説など

- ▽幽霊認証局/赤川次郎/913ア
- ▽競争の番人/新川帆立/913シ
- ▽〈磯貝探偵事務所〉からの御挨拶
/小路幸也/913シ
- ▽死神と天使の円舞曲/知念実希人
/913チ
- ▽棘の家/中山七里/913ナ
- ▽最後の証人/佐方貞人1/柚月裕
子/913コ
- ▽検事の本懐/佐方貞人2/柚月裕
子/913コ

●そのほかの小説など

- ▽猫弁と幽霊屋敷/大山淳子/913オ
- ▽夜に星を放つ/窪美澄/913ク
- ▽孤蝶の城/桜木紫乃/913サ
- ▽両手にトカレフ/ブレイディみか
こ/913ブ
- ▽スタッフ・ロール/深緑野分/
913フ

●社会、エッセイなど

- ▽池上彰の世界の見方/東欧・旧ソ
連の国々/302イ
- ▽私解説/瀬戸内寂聴/910セ
- ▽大人への手順/伊集院静/914イ
- ▽地球、この複雑なる惑星に暮らす
こと/ヤマザキマリ、養老孟司/
914ヤ

■警察署コーナー

●夏の水難事故を防止しよう

楽しい夏場のレジャーでは、毎年、海や川などでの事故で尊い命が失われています。青森県では昨年(令和3年)28件の水難が発生し、そのうち7月と8月は合わせて7件発生しています。

◎子どもの水難事故防止

○天候の変化に注意し、悪天候の時には海や川に近づかないようにしましょう。
○危険な場所がないか確認し、危険な場所では子ども



を遊ばせないようにしましょう。



■消防署コーナー

●夏休みを楽しく過ごすために

この時期は、花火やお盆の迎え火、送り火による火事、また、川等での水による事故が発生しやすいので次のことに注意し、楽しい夏を過ごしましょう。

《花火遊び》

- ・大人と一緒に遊びましょう。
- ・水バケツを準備しましょう。
- ・広い場所で遊びましょう。
- ・注意事項をよく読みましょう。

《お盆の迎え火・送り火》

・風の強い日は焚かないように



田子警察官駐在所

☎32-3109

▼三戸警察署

田子警察官駐在所

《海や川での注意点》

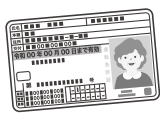
- ・火を完全に消しましょう。
- ・服を着たまま水に落ちた時は、無理に泳ごうとせず「浮く」ことを先に考えましょう。
- ・溺れている人を見つけたら、まずは大声で助けを呼びましょう。次に長い棒状のもの(釣竿等)を差し出し、浮力のあるもの(クローラーボックス、2ℓペットボトル等)を投げ入れてつかまらせてあげましょう。飛び込んで助けることは最終手段です。

▼三戸消防署

田子分署 ☎32-3104

■高齢者講習の早期受講のついでのごお願い (70歳以上の方が対象)

運転免許証の有効期間満了日の約6カ月前、75歳未満の方に「高齢者講習通知書」、75歳以上の方に「認知機能検査通知書兼高齢者講習通知書」が届きます。通知書を受け取ったら、まずは自動車教習所に電話し、早めに予約をしてください。



▼予約方法 通知書に県内の自動車教習所の電話番号が記載されていますので、ご希望の教習所にご自身で電話して予約してください。

▼注意事項 ▽自動車教習所によっては、予約がいっぱいで数カ月前になる場合もあります。▽高齢者講習を受講すると「高齢者講習終了証明書」が交付され、免許証の更新時に必要となりますので、紛失しないようにご注意ください。▽体調が優れない方は、無理をせず、受験・受講日を変更するなど、ご自身の体調を優先してください。問三戸警察署 ☎22-1135

町の人口

令和4年6月30日現在

世帯数/2107 (+1)
人口/5051 (-7)
男/2448 (-4)
女/2603 (-3)
() 内は前月比です

お悔やみ

- 久保とめ (86歳) 干草場
 - 原田トミ (86歳) 原
 - 堰向秀智 (43歳) 北側
 - 小笠原治廣 (76歳) 中本町
 - 中畑さだ (88歳) 遠瀬
- ※ () 内は享年、() のあとは行政区です



8月の主な保健・介護予防事業予定表

2 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30	17 (水) こども健診 (せせらぎの郷) 午前9:30~正午
3 (水) 乳児健診 (せせらぎの郷) 午前10:00~正午	18 (木) 「くらし」と「しごと」田子町無料相談会 (せせらぎの郷) 午後1:00~4:00
二種混合予防接種 (せせらぎの郷) 午後1:00~3:00	19 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30
5 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30	23 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30
8 (月) 物忘れ・介護予防相談 (せせらぎの郷) 午後1:00~4:00	24 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30~正午
9 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30	26 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00~午後2:30
10 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30~正午	認知症予防教室 (せせらぎの郷) 午後1:30~3:30
子宮頸がん予防接種 (せせらぎの郷) 午後3:00~5:00	27 (土) 介護職員初任者研修 (第1回) (せせらぎの郷) 午前9:00~午後5:05
16 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30	30 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00~午後2:30

心の相談窓口

役場地域包括支援課 ☎20-7100

学校の話 上郷小学校

1972年に旧上郷小学校、遠瀬小学校、関小学校、夏坂小学校の四校が統合して、新しい上郷小学校になりました。その後、1985年に水亦分校が統合されて現在に至ります。今年度、上郷小学校は統合して50周年を迎えました。

5月21日、晴天に恵まれ、3年ぶりにグラウンドでの大運動会を行いました。統合50周年を記念して、ご来賓や地域の方々のご協力を得て、グラウンドに人文字を作り、ドローンから撮影しました。全校児童は9名ですが、117名もの方が参加してくださり、きれいな人文字が完成しました。その後、参加者全員を赤白に分けて、大玉送り競争をして50周年をお祝いしました。

さて、今年の大運動会は、4名の赤組と5名の白組との熱い戦いになりました。どちらの6年生も、最後の大運動



会を勝利で終えたいという思いが強く、最初から全力で応援や競技に取り組んでいました。そして、この6年生に引け張られるように、5年生以下全員も、『元氣 笑顔 友情 100%の 記念すべき運動会をもう上げよう』のスローガンに向かって精一杯がんばっていました。

種目は、徒競走と持久走の個人競技、上郷子ども神楽、玉入れ、家族と一緒に行う団体競技と技能走、そして最後にリレーで締めくくりました。持久走では、卒業生4名とお父さん方が一緒に走ってくださり、競技を盛り上げてくださいました。

また、家族と一緒に参加した種目では、子どもたちがとても楽しそうにしていたことが印象的でした。最後の大運動会は赤組が優勝しましたが、みんなが笑顔で終えられたすばらしい大運動会になりました。(原稿・画像提供 上郷小学校)

陶芸

陶芸作品

陶芸クラブ 陶寿延 (代表 長澤静子)



「表札」

作者：尾形千恵子

会員になりまもなくの作品です。文字の黒い部分は、素焼き、本焼き後、漆を使って筆書きです。



「花瓶」

作者：清水京子

手びねりなので初心者でも作れます。

陶芸にチャレンジしてみませんか？ 毎週火曜日・水曜日に活動しています。興味のある方は、役場住民課(☎20-71119)までご連絡ください。

今月号では、「今月の話題」のコーナーで終戦特集として、田子町出身の野田頭弘子さんへインタビュー取材を行いました。取材では、書ききれなかったこともたくさんありました。

引き揚げ時に母親のりよさんが、リュックに鉄板の鍋をぶら下げて、歩いていったそうです。野宿する際に、野草等を煮て食べたり、水を汲んで顔を洗ったり、体を拭いたりするために使ったそうです。野田頭さんは、洗面器ではなく鉄板の鍋を持ち歩く等の母親の様々な知恵のおかげで残留孤児にならずに、日本に帰って来られたとおっしゃっていました。

インタビューをしていて、母親の「子をなんとかして守ろうとする親心」と、母親の偉大さに感動しました。平和ボケと言う人もいますが、平和な世の中になってほしいですね。

(広報担当 ヤマウチ)

編集後記



「日本で最も美しい村」連合 vol.17 (令和4年8月号)

「日本で最も美しい村」連合定期総会・学習会 2022 in 秋田県小坂町



6月30日に、「日本で最も美しい村」連合定期総会・学習会2022 in 秋田県小坂町が『明治の芝居小屋「康楽館」』で開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、加盟町村等が顔を会わせての総会は3年ぶりの開催となります。

定期総会では、山口県阿武町の連合への新規加盟が発表され、同町の「阿武火山群の恵みに支えられた農漁村の暮らし」と「無角和牛」を地域資源として登録する、加盟セレモニーが行われました。

学習会では、小坂町の美しい村としての取組について事例発表が行われました。高齢者の方がパソコン・スマホを活用し、小坂町観光PR応援隊として

YouTubeで動画配信をする取り組みや、小坂鉄道保存会による小坂鉄道を魅せ鉄として観光に有効活用する取り組み、町の芸能の「アカシア太鼓」と「小坂音頭」の発表がありました。

その後、会場となった康楽館で芝居小屋体験と題し、連合の加盟町村や正会員の方の中から、役者、拍子木、付け打ちなどの役に分かれて、実際に芝居を行い体験をしました。

翌日の7月1日には、小坂町交流センター「セバーム」で、「日本で最も美しい村」連合東北ブロック加盟町村による観光物産展が開催され、にぎわいを見せていました。

地域おこし協力隊が取材！ 町内店舗の紹介

第3弾

勇 鮨



昭和38年頃、先代のお父様が、今のガーリックセンター向かいの場所で開業されました。当時はカウンターのみのお店でしたが、お店が繁盛することに伴い、現在の場所に移転されたそうです。

店主の佐藤剛大さんは、関東や関西で割烹料理の修行をされていましたが、田子町にUターンしてからはスキー場や創遊村などで働いていたそうです。そんな折、平成26年にお父様が亡くなられ、お店を継ぐことを決意されました。しかし、板前としてのノウハウがなく、レシピもなかったため、悪戦苦闘の日々が続き『ま

れない日々がしばらく続いた』と当時を振り返ります。

そんな日々の中、来てくれるお客様に対し、感謝の気持ちが強く芽生え『自分なりに寿司を極めよう』と誓い、今も試行錯誤の日々だそうです。

そんな佐藤さんが、商いを行う上で一番大事にしていることは(人を大事にすること)であって、『お客様が他愛もない話や夢を、楽しく語れる場所を提供したい』『お店で出す郷土料理を通して、次世代に田子町の自然を守ることを大切さを伝えるだけでなく、食育の観点からも地域貢献を果たしていきたい』

と熱っぽく語られました。また、町内にいる各種専門家とともに情報を発信することで、新たな人のつながりを生み出していきたいと、強く意気込む佐藤さん。皆さんも元気をもらいに、どうぞ足を運んでみてください。



はじめてのハッピーバースデー

令和3年7月に生まれた満1歳のお友だちです。



●岩館良愛ちゃん
R3.7.2

(西館野・女の子)

お姉ちゃんより食いしん坊の良愛。これからますます元気に笑顔でみんな仲良く過ごそうね。